

令和7年度 指定管理者施設管理評価シート

施設名称		26 東京都台東区立まつがや高齢者在宅サービスセンター	部課名	福祉部高齢福祉課	
選定方法		<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理者	社会福祉法人東京援護協会	
			指定期間	R7.4.1	～ R12.3.31

1. 施設及び事業の概要

(1)	[設置目的]	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地]	台東区松が谷4-4-3
(2)	[規模]	延床面積 4,671.32㎡のうち1,297.01㎡ SRC造一部RC造 地上8階地下2階のうち2階の一部
(3)	[委託事業]	①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等） ②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員35名）
(3)	[自主事業]	自主事業は行っていない。
(4)	[利用者]	要支援・要介護と認定された高齢者
(4)	[利用料金制]	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間]	月曜日から土曜日（年始1月1日～3日を除く）午前8時30分～午後5時15分
(6)	[人員体制]	27名 （内 訳）施設長(1)、生活相談員(5)、栄養士(1)、機能訓練指導員(4)、介護士(9)、看護師(2)、運転手(4)、介護補助(1) （前年増減）2名増（機能訓練指導員(+1)、介護士(+1)）

2. 予算決算

		R5予算	R5決算	R6予算	R6決算
収入	委託料（指定管理料）	11,363,000	11,363,000	11,363,000	11,363,000
	利用料金収入	84,753,000	87,689,873	86,122,000	96,509,680
	その他収入（受入研修費収入等）	4,090,000	1,626,433	4,347,000	2,500,433
	計	100,206,000	100,679,306	101,832,000	110,373,113
支出	人件費	69,202,000	76,057,194	70,049,000	83,842,367
	光熱水費	4,261,000	3,365,657	3,704,000	3,690,068
	維持管理費（委託料・賃借料）	14,389,000	14,786,511	15,728,000	15,051,983
	修繕費	9,000	289,330	80,000	304,065
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（給食費支出等）	12,345,000	12,081,383	12,271,000	13,300,791
	計	100,206,000	106,580,075	101,832,000	116,189,274
収支			-5,900,769		-5,816,161

3. 活動指標

	単位	(目標値)R8年度	R4年度	R5年度	R6年度
開館日数	日	311	311	310	310
定員	人	35	35	35	35

4. 成果指標

	単位	(目標値)R8年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用率	%	85	70.7	76.0	83.5
利用者数	人	9,250	7,699	8,247	9,057

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

新型コロナの影響を受け一時閉鎖したことによる利用率低下に対し、日々の消毒等を行い対策を継続した。また、台東区内の通所サービス事業所の閉鎖に伴い、移行希望者への最大限の受入れ体制を整備するなど利用率向上に対し取り組んでいる。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設の運営にあたり法令等を遵守し、区との情報共有も適宜なされている。また、災害・感染症のBCPを作成し、全職員に配布するほか、毎月避難訓練を実施するなど、非常時に備えている。全般的に適切な施設管理が行われている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	人員配置基準を上回る人員を配置し、感染症の感染拡大予防策を講じた上で事業計画を実施するなど、良好な事業運営がなされている。また、利用率は目標値に届かなかったものの、向上している。引き続き利用率向上のため取り組むことが望まれる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	設備の定期点検や、毎日の手すり・トイレ等の消毒を実施し、施設の維持管理を適切に行っている。また、プラスチックゴミ専用のゴミ箱を用意し、資源ゴミの細分化に努めるなど環境へ配慮している。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	大型テレビを使用した健康体操動画の活用等による活動プログラムの充実や、毎月開催している利用者懇親会での意見の反映などに取り組み、サービス向上に努めている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	予算に対し利用料金収入は増加したものの、利用率向上に伴う職員増員による人件費支出の増や、その他収入の減により、収支が赤字となっている。運営継続のため、経費削減やその他収入の増などに取り組むとともに、さらなる利用率向上が望まれる。

(6) 優れた取り組み

《加点項目》

※点数上限：10点

指定管理者の自主的な取り組みによる成果

—

点

7. 総合評価

極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

<h1>良好</h1> <p>(95 / 110点)</p>	<p>【所見】</p> <p>感染対策をしつつ、大型テレビを使用した活動プログラムの充実や、利用者の意見の反映などサービス向上に取り組んでいる。利用率は向上したものの、収支状況が悪化しており、改善のためさらなる取り組みが求められる。</p>	<p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>経費削減に努めているが、人件費等の支出の増や、その他収入の減などが見られる。より一層の経費削減に取り組むとともに、利用率向上のため工夫してサービスを提供していくことが望まれる。</p>
---------------------------------	--	---